

SHIRO TORI 通信

Vo.31

2022 winter

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

「お多福豆」と
「ミルクジャム」の
至福のコラボ「福みるく」

「合名会社だるま」さん

城取設計ニュース
オススメ!この一冊
建築ニュース
建築探訪
建築設計の仕事
実録!地元のチカラ この街の企業
これぞパンです
営業コラム





建築 NEWS

強くて安い。木造の中高層マンション建設相次ぐ

強度や耐震性を高めた建材の開発が進み、木造の中高層マンションの建設が相次いでいます。三井不動産傘下の三井ホームは、東京都で同社初の5階建て木造賃貸マンションの建設を進めており、最も強度が必要な1階部分は鉄筋コンクリート（RC）だが、2階以



上の壁や床などは木造になっています。木材は鉄筋などに比べて軽いため、地盤改良も一部不要になります。

三井ホームのマンションは建築コストを1～2割ほど削減出来る見通しだといえます。

関西でも大阪府・京都府で木造の中高層ビルの建築が続々と登場しており、また、野村不動産は昨年9月に、鉄骨やRCと木造を併用した「ハイブリッド構造」の分譲マンションを東京都で発売しました。

今後は更に木造の中高層マンションの建設が広がりそうです。

コロナも少しだけ落ち着いてきたので、久々に県外へ建物探訪です。今回紹介するのは群馬の前橋に「昨年オープンした白井屋ホテル」。紹介したくてウズウズしていました。建築とアート、そしてサウナ好きにはたまらないホテルです。大胆なリノベーションで4層吹抜けのラウンジをつくった既存棟と、かつて利根川支流にあった土手をイメージした新築棟の2棟からなり、至る所で建築とアートを堪能できます。特筆すべきは、レランドロ・エルリッヒ、ジャスパー・モリソンら世界のトップクリエイター4人が手がけた4つのスペシャルルーム。他に類をみないオリジナリティー溢れる空間になっています。そして丘の上に建っている小屋のようにデザインされた本格的なフィンランドサウナで「整う」体験をした後は赤城山を望みながらの外気浴。控えめにいつて最高です！



白井屋ホテル

建築探訪

城取設計ニュース

2022年新年を迎え

2022年新年明けましておめでとーいございます。お陰様で昨年は会社を法人化し50年を迎え、今年は創業59年目を迎えることとなります。

2021年コロナ禍ではありましたがいいニュースもありました。それは2人の社員の一級建築士・二級建築士資格の合格、今は資格取得も大変難しく日常会社業務の傍ら資格取得のため学校に通ったり通信教育で勉強したりと、とても大変なものとなっています。

また昨年も多くの建物の引き渡しもさせて頂きました。公共施設、社屋、工場、店舗等々、業種も様々で中には設計から完成まで5年近く経過したものもあり、とても感慨深い年となりました。ここ近年の特徴ですが「設計プロポーザル」の案件が増えてきました。今までは公共物件ではあつた



のですが、最近では民間企業でもプロポーザル案件が増えてきました。建物の提案だけでなく省エネ、環境提案、保全計画など、様々な角度から提案します。今までより一層設計事務所の技術を高めていきたいと思えます！

おススメ

この一冊

「嫌われた監督」

鈴木忠平（文藝春秋）



落合博満は中日をどう変えたのか

中日ドラゴンズで監督を8年間

務め、黄金時代を築いた落合博満監督が退任してから今年で10年。ペナントレースではすべてAクラスに入り日本シリーズに5度進出。2007年には日本一にも輝くなど多くの功績を残しました。

落合監督は、選手に手取り足取り教える事はせず、たとえ何かを伝えるとしても謎かけのような言葉を漏らすだけで選手自身が考えて答えを導き出さなければなりません。監督が求めるものは「自ら考えること」でしたが、なかなか伝わらずに反発する者も多かったです。選手の人生と、ファンの期待を預かる監督の責任はもっとも

重かったでしょう。

そして監督は、日常生活でもっとも大切にしろと教わってきたものの一つを捨てる事で、優勝を手に入れました。「嫌われた監督」は様々な感情が溢れる作品ですの、是非一読ください。



鈴木忠平著
定価：本体2,090円税別
発売日：2021年9月24日
形態：単行本（480ページ）

特集

施工事例

創業59年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

端然とした水平・垂直の構成によるシンプルなデザインと大きなガラス窓による開放的なトレーニングルームのある事務所

建築概要

- 名称：宮坂組新社屋
- 発注者：株式会社宮坂組
- 所在地：長野県上伊那郡南箕輪村
- 構造・階数：S造・2階
- 延床面積：705㎡

長野県南箕輪村に本社を置く建設業、株式会社宮坂組の新事務所社屋です。

計画当初は、既存社屋の老朽化した部分を重点的に改修するリフォームの予定でしたが、宮坂社長と話をしているなかで、今回の一番の目的の物理的耐用年数の更新ほかに不要スペースの除却（減築）によるスリム化や潜在していた社会的耐用年数の更新などが顕在化し、費用対効果等を鑑みて今回の新社屋の現地建て替えへと計画が変わってまいりました。

主要な室は1階に事務室・社長室兼応接室・打合せ室（2室）、2階に大会議室のほか社屋ではあまり見かけないトレーニングルームが設けられています。社員さんの健康増進やリフレッシュに利用されるそうで、宮坂社長の遊び心（？）が感じられます。

風匠に関して、シアトル系コーヒーストップのようなデザインの実装がありました。そのため外観デザインは、水平・垂直の直線構成によるシンプルな形状と外装材のタイルや木などの天然風素材がもつテクスチャーが建物の表情となるよう計画しています。また、打合せ室やトレーニングルームの幹線道路に面した部分は大開口のガラス窓として開放的な印象を与えると共に、

「差し色」として配したレッドシタールの袖壁が内部へと入り込む様子がこのガラス窓を通して見えることで内と外の繋がりを感じられるファサードデザインとなりました。

内部1階は、間仕切壁にガラススクリーンを多用して視覚的につながりを持った執務空間とし、外装のテイストを取り込んだ色調にてまとめた落ち着いた雰囲気としました。対して2階はアースカラーの色彩をベースに清潔感のある空間にまとめ1階に比べカジュアルな雰囲気としました。事務所建築というより商業施設寄りにラビニングされた新社屋、今度お邪魔したらおいしいコーヒーをどうぞになってください。



1F 社長室兼応接室



1F 打合せ室



1F 事務室



2F トレーニングルーム



建物全容(南面)

高級食パン専門店
これぞパンです
This is a "PAN"!!



長野県上伊那郡
南箕輪村 298-5
TEL.0265-97-1376
OPEN 10:30 ~ 18:00
※パンがなくなり次第終了
定休日 不定休

配達を始めました

これぞパンですでは大量注文いただいたお客様(20,000円以上のご注文で10km圏内)であれば無料で配達可能となりました。昨年から企業様団体から多くのご注文をいただくことが増え、もっと多くの人に食べてもらいたいと考え、配達車を用意しました。

ご希望の方はお店までお気軽にお問合せください!

大量注文
ご対応可能に
なりました。

20,000円以上のご注文
配達無料!

ご注文はこちら 0265-97-1376 026-405-7845

営業コラム



昨年7月我家にやってきたのがゴールデンレトリバーの「しし丸」。そんなしし丸も半年経過し、体重も27キロと驚く速さで成長しています。まだまだ赤ちゃんのしし丸はオスという事もあり、やんちゃ盛りで家中の柱・扉・カーテンなど噛んだり、外に出るのも大好きで真っ黒になりながら駆け回っています。

土日の日課が大芝高原への散歩、南箕輪村に住んでいぶ経ちますが大芝高原の魅力を再認識しました。広い公園、温泉施設、キャンプ場、グラウンド、テニスコート、マレットゴルフ場などなで〜そんな

なりソフト地みたいなエリアを愛犬と散歩するのが楽しみです、毎回毎回新たな発見をしています!

元気なしし丸ですが、年末から足の調子が悪く足をかばって歩く事も多かったり階段上るのも辛そうなる事もあって病院へ行くと「股関節形成不全」と診断され、まだ幼いのに痛み止めを飲みながらリハビリなどして筋肉をつけたりと大変な毎日を送っています。



今回ご紹介するのは、伊那市にある、合名会社たるまさんです。大正5年に仕出し屋を創業し、その後、創業料理屋を開業。70年近く変わらぬ製法と味を守り続けています。

当初、「老舗料亭「だるま」の料理の一品として提供していたお多福豆を、お客様の要望にお応え

して土産にしたのが始まりで、今では伊那を代表する「お多福豆」となり土産、贈答品、おせち料理の一品となりました。

そして今回、70年以上愛され続けている駒ヶ根高原のすずらん牛乳で作るミルクジャムとのコラボ商品「福みるく」が登場!大粒の「お多福豆」が濃厚ミルクジャムの中にゴロゴロ入り、職人の技が光る一品スイーツへと仕上がりました。

また福みるくの楽しみ方は無限大にあり、カリカリに焼き上げたトーストにたっぷりミルクジャムをのせると、口の中いっばいにミルクの甘みが広がり、後からふわっと豆の風味が来るためたまらない贅沢な一品に!他にも、ワッフルやホットケーキ、ぜんざいにのせても美味しく頂けます。

地元のチカラ この街の企業

合名会社たるま
(伊那市)

「お多福豆」と「ミルクジャム」の至福のコラボ「福みるく」



2021年12月より上伊那郡南箕輪村にある、「これぞパンです This is a PAN」でも取り扱いを始め、ふわふわの高級食パンと福みるくの相性は最高です。

「これからも全国の皆様へ多くの「福」をお届けのべく頑張っています。今後とも「福みるく」「お多福豆」を「愛顧賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。」と語るだるまさん。これからも全国にたくさんの方の幸せをお届けしてきたい。

伊那名物「お多福豆」

長年培った料理技術をもとに、「浸透漬け煮製法」という独自の製造法から手間と時間をかけ、豆の芯までバランスよく味をのせ、上品な甘味と豆の持つ食感を大切にふくらと煮上げた逸品です。だるまのお多福豆は、いわゆる佃煮の豆と違い、炊き上げに時間をかけております。お茶請けにぴったりです。とくに日本茶との相性は抜群、気持ちまでほっこりします。



合名会社たるま
長野県伊那市荒井 3386
TEL: 0265-72-3168
http://daruma-otafuku.com

合名会社たるま
「お多福豆」の紹介

時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

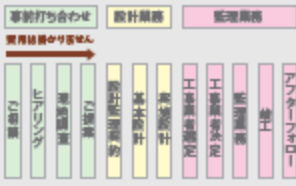
城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取り組みます



株式会社 城取建築設計事務所

■創立 1963年4月1日

■代表取締役：城取健太

■資本金：1000万円

■登録：(伊那) 第2Y051号

■取引銀行：八十二銀行 伊那支店

アルプス中央信用金庫 本店

■所属団体：(社)長野県建築士事務所協会
 (社)長野県建築士会

■事業内容

- ・建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・商業施設に関する企画・設計・監理
- ・環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・建物構造調査・診断・設計・監理
- ・既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■本社

長野県伊那市西町 5863-1

TEL：0265-72-7271

FAX：0265-72-7270

